

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。

- ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストの知識・技能観点の達成率を85%以上にする。)
- ・たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。(自校テストの知識・技能観点の達成率を85%以上にする。)

○思考力・判断力・表現力を高める。

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率を2pt向上させる。

○平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質・能力の育成。

- ・さいたま市学習状況調査【主権者教育】における「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より1pt向上させた値にする。

具体的な手立て

- ①「ドリルパーク」の学習履歴を活用し、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
- ②児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。国語科においては、児童とともに学習課題・学習計画を立てて、「つかむ」のプロセスを重視し、学習に意欲的かつ、見通しをもって取り組めるようにする。
- ③どの単元においても、解決方法の見通しをもつ場面を設定する。
- ④思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
- ⑤NIE実践指定校の取組として、児童が新聞に触れる機会を設定する。
- ⑥書く活動を通じた国語科の学習力の向上に向けて、各学年の発達段階に応じた取組を学年共通で行う。
- ⑦GIGAスクール構想に基づき、全校をあげて研究を推進し、ICTを活用した学びの改革を進め、エバンジェリストを中心に日々の授業において実践していく。

結果

- ・自校テストでは、国語の知識・技能観点の習得率は86%。算数の知識・技能観点の習得率は88%であった。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より平均正答率は0.4pt向上した。
- ・令和3年度のさいたま市学習状況調査【主権者教育】における「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の肯定的な回答の割合は、昨年度より下がっていた。

今年度の振り返り・次年度に向けて

国語科と算数科では、知識・技能の成果指標を達成することができた。主体的に学習に取り組む態度については、授業において、児童とともに課題を設定し、問題解決の見通しをもたせることで、意欲的に学習に取り組むようになってきた。

次年度も課題や学習計画をともに立てたり、より一層ICTを活用した学びを推進したりしていく。

NIE実践指定校の取組として、年度始めから新聞やデジタル版小学生新聞を用いた活動に取り組み、児童が社会で起こっている問題や出来事に関心をもてるようにする。